

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	本邦における子宮体癌に対する低侵襲手術(MIS)の実態調査
	研究目的	本研究では本邦における子宮体癌に対する MIS 治療の実態(これまでの実施数、手術適応、手術術式、腫瘍学的予後、どのような施設で実施されているのかなど)を後方視的に解析し本邦の現状を把握することにより、問題点を明らかにし、今後の子宮体癌に対する MIS のより適切で安全な普及を図ることを目的とする。
	研究対象者	2015 年 1 月より 2017 年 12 月の間に当院で子宮体癌に対する腹腔鏡手術・ロボット支援下手術を受けた患者さん。
	研究期間	西暦 2022 年 2 月 7 日～西暦 2022 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	近内勝幸
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	婦人科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	東海大学医学部専門診療学系産婦人科学 准教授 吉田浩